

道路照明のLED化

竹田委員 令和4年度の設置はどこで、何基か。何年計画か。

当局 35基を予定している。蚕桑地区から順次実施し、4年間での完了を見込んでいます。

西廻り幹線道路

金田委員 令和4年度は、町として整備促進に向けた取り組みを具体的にどう進めるのか。

当局 引き続き要望活動に取り組み、総会などの会議も可能な限り開催し、事業の推進を図りたい。また、県では、概略設計のための地形図作成費を予算要求しているの、県担当者と随時連絡を取りながら進めていきたい。
金田委員 その活動経過及び結果をどのような形で関係者に周知していくのか。
当局 県と連絡を取り

ながら、必要に応じて関係者の皆様に説明させていただきたい。

消防費

個別避難計画

金田委員 自主防災組織等との連携をどう考えていくか。

当局 自主防災組織の皆様は主体的に取り組んでいただいて、より具体的に実効性のある計画を作っていたら、円滑な避難行動につなげていきたい。

消防団活動

小口委員 団員報酬を県内自治体に先駆けて増額し、団員へ直接支払にしたが、団員の反応はどうか。

当局 特段、情報としてはないが、部によっては、会費などを徴収しながら運営費に充て

ていることもあるとお聞きしている。

小口委員 令和3年度の団員数と令和4年度の予定数は何人か。

当局 令和3年度は632名、令和4年度は617名の予定で、17名の減である。



貯水槽の複数整備

笹原委員 防火水槽新設予算が大幅に増加した。この予算で2基となった理由はなぜか。

当局 既存の無蓋貯水槽の解体費用も見込んだの予算となったためである。

笹原委員 地域からの要望も多い。今後重複箇所も改修となるか。

当局 今後とも2か所を想定して計画していく。

教育費

荒砥高校存続

金田委員 荒砥高校の存続に向けて、拡充してまで支援していくことは理解できる。同じ町民である荒砥高校以外の生徒に対する支援とのバランスはどのように考えているか。

町長 ほかの高校を選ばれる家庭にも同じく支援することは、荒砥高校を選んでいただけるといふ行為にはならないと判断した。そのため、荒砥高校を選ん

中学校整備を検討

笹原委員 中学校は統合されて新しいイメージがある。施設整備の検討内容はどのようなものか。

当局 昭和49年に建ち老朽化が進む。体育館の床、水はけの悪いグラウンドなど施設全体の調査のほか、生徒数の減少など将来を見据えて検討する。

学校給食

山田委員 学校給食の民間委託をどう総括しているか。

当局 概ね順調に安全で安心なおいしい給食の提供ができています。考えている。特に、地産地消割合、栄養価充足率が高い水準を保っている。

山田委員 施設建設から40年経過している。米飯給食地産地消の取り組みと併せてどのように進めていくのか。

当局 近い将来、施設全体の在り方と温かいご飯の提供について、セットで検討することが必要になってくると思う。



よりよい教育環境を求めて